



アドビ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー

アドビ、2021年第3四半期の業績を発表

過去最高となる収益を報告

四半期末の残存履行義務（Remaining Performance Obligations）が126億ドル、
前年同期比22%の拡大

※米国本社発表の業績プレスリリースは[こちら](#)をご覧ください。

【2021年9月22日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2021年9月21日）：Adobe（Nasdaq：ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、2021年度第3四半期（2021年9月3日を末日とする）の決算を発表しました。

■ 2021年度第3四半期の業績ハイライト

- 2021年度第3四半期の収益は39億4,000万ドル、前年同期比22%増となりました。
- GAAP ベース希薄化後1株当たり利益（EPS）は2.52ドルで前年同期比28%増、Non-GAAP ベース希薄化後1株当たり利益（EPS）は3.11ドルで前年同期比21%増。
- デジタルメディア分野の収益は28億7,000万ドル、前年同期比23%増。うちクリエイティブ分野の収益は23億7,000万ドルに拡大、前年同期比21%増。Document Cloud の収益は4億9,300万ドルで前年同期比31%増。
- デジタルメディア分野の年間経常収益（Annualized Recurring Revenue - ARR）は当四半期末時点で116億7,000万ドルに拡大し、前四半期比4億5,500万ドルの増加。クリエイティブ分野および Document Cloud の ARR は、それぞれ98億7,000万ドル、17億9,000万ドルに拡大。
- デジタルエクスペリエンス分野の収益は9億8,500万ドル、前年同期比26%増。デジタルエクスペリエンス分野のサブスクリプション収益は8億6,400万ドル、前年同期比29%増。
- 第3四半期のGAAP ベース営業利益は14億4,000万ドル、Non-GAAP ベース営業利益は18億1,000万ドル。GAAP ベース純利益は12億1,000万ドル、Non-GAAP ベース純利益は15億ドル。
- 営業キャッシュフローは14億2,000万ドル。
- 四半期末の残存履行義務（Remaining Performance Obligations - RPO）は126億3,000万ドル、前年同期比22%増。
- 当四半期中に約170万株を買い戻しました。

GAAP 業績と Non-GAAP 業績の対応については、[プレスリリース（英語版）](#) 末尾とアドビの web サイトで説明します。

■ 役員のコメント

アドビの会長、社長兼 CEO（最高経営責任者）であるシャンタヌ ナラヤン（Shantanu Narayan）は次のように述べています。

「デジタルファーストとなったこの世界で、Creative Cloud、Document Cloud、Experience Cloud が伝え方や学び、ビジネスの手法を変革し続けており、第 3 四半期も目覚ましい業績を達成することができました。今後もアドビは、優秀な社員、カテゴリーを創造するイノベーション力、製品リーダーシップによって大きく成長していけると確信しています。」

アドビのエグゼクティブ バイス プレジデント兼 CFO であるジョン マーフィー（John Murphy）は、次のように述べています。

「第 3 四半期は過去最高の収益と高い利益率を達成し、変化の多い環境においても成功を収められるわが社の能力を示すことができました。規律ある業務遂行とデータに基づいた知見を武器に事業を展開するとともに、引き続き市場機会が大きい分野への投資を幅広く行っていきます。」

■ 2021 年度第 4 四半期の財務目標

アドビが本日発表する第 4 四半期の財務目標は、現在のマクロ経済状況、および例年年度末の需要の高まりを考慮しています。

次の表はアドビの 2021 年度第 4 四半期の財務目標を要約したものです。

2021 会計年度第 4 四半期収益合計	最大 40 億 7,000 万ドル	
デジタルメディア分野の収益	前年同期比最大 20% 増	
デジタルメディア分野の純 ARR（年間経常収益）	純 ARR で最大 5 億 5,000 万ドル	
デジタルエクスペリエンス分野の収益	前年同期比最大 22% 増	
デジタルエクスペリエンス分野のサブスクリプション収益	前年同期比最大 26% 増	
税率	GAAP: 最大 17%	Non-GAAP: 最大 16%
株式数	最大 4 億 8,000 万株	

1株当たり利益 (EPS)	GAAP: 最大 2.52 ドル	Non-GAAP: 最大 3.18 ドル
---------------	---------------------	-------------------------

GAAP 財務目標と Non-GAAP 財務目標の対応については、[プレスリリース \(英語版\)](#) 末尾で説明します。

■ 将来的観測の開示 (Forward-Looking Statements Disclosure) について

本プレスリリースは、実際の業績と大幅に異なる可能性があるリスクおよび不確実性を内包した、事業の勢い、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の拡大が事業および業績に与える影響、市場動向、マクロ経済環境の状況、顧客の成功、収益、営業利益、季節変動、年間経常収益 (ARR)、GAAP ベースおよび Non-GAAP ベースの課税率、GAAP ベースおよび Non-GAAP ベースの1株当たり利益、株式数に関連する将来的観測を含みます。実際の業績との差異の原因となる可能性としては、以下が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- 競争において成果をあげることの失敗
- 顧客の必要に応える製品およびサービスの開発、獲得、市場投入、提供の失敗
- 新技術の導入
- 情報セキュリティおよびプライバシー
- アドビまたは第三者によって提供されるホステッド サービスに障害または遅延が生じる可能性
- マクロ経済の状況および新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の拡大が経済に与える影響
- サイバー攻撃に関連するリスク
- 複雑な販売サイクル
- 当社のサブスクリプションサービスによる収益認識のタイミングに関連するリスク
- サブスクリプション サービスの更新比率の変動
- 過去および将来の買収において見込まれた利益達成の失敗
- 第三者との重要な戦略的取引関係における成果達成の失敗
- 会計原則および税規則の変更
- 当社が事業を行っている国々における金融市場および経済情勢の不確実性
- 多国籍企業におけるその他のさまざまなリスク

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説に関しては、2020年11月27日を末日とする2020会計年度のアドビの年次報告書 (Form 10-K)、および2021年度に発行されたアドビの四半期報告書 (Form 10-Q) をご参照ください。

本プレスリリースに記載された財務情報は、現時点で得られる情報に基づいた推定を反映したものです。これらの数値は、2021年9月3日を末日とする四半期についてアドビが2021年9月末に提出予定の四半期報告書（Form 10-Q）に記載される実際の業績数値とは異なる場合があります。アドビはこれら将来的観測について情報更新の義務を負わず、当面は更新の意図もありません。

■ 「アドビ」について

アドビは、「世界を動かすデジタル体験を」をミッションとして、3つのクラウドソリューションで、優れた顧客体験を提供できるよう企業・個人のお客様を支援しています。[Creative Cloud](#)は、写真、デザイン、ビデオ、web、UXなどのための20以上のデスクトップアプリやモバイルアプリ、サービスを提供しています。[Document Cloud](#)では、デジタル文書の作成、編集、共有、スキャン、署名が簡単にでき、デバイスに関わらず文書のやり取りと共同作業が安全に行えます。[Experience Cloud](#)は、コンテンツ管理、パーソナライゼーション、データ分析、コマースに対し、顧客ロイヤルティおよび企業の長期的な成功を推進する優れた顧客体験の提供を支援しています。これら製品、サービスの多くで、アドビの人工知能（AI）と機械学習のプラットフォームである[Adobe Sensei](#)を活用しています。

アドビ株式会社は米 Adobe Inc.の日本法人です。日本市場においては、人々の創造性を解放するデジタルトランスフォーメーションを推進するため、「心、おどる、デジタル」というビジョンのもと、心にひびく、社会がつながる、幸せなデジタル社会の実現を目指します。

アドビに関する詳細な情報は、[web サイト](#)をご覧ください。

©2021 Adobe Inc. All rights reserved. Adobe and Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States/ or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.